

区民の皆様へ

三輪地区



住民自治協議会だより



第60号

令和5年11月1日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 金井 和彦
広報委員会委員長 花崎 秀紀
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp
H P: https://www.miwajichikyo.com



公民館部会

地域の音楽祭

三輪地区ふれあいコンサート

区民広場委員会 委員長 高島 陽子

7月2日(日)、三輪小学校の体育館を会場に「ふれあいコンサート」を開催したところ、地元住民を中心に450人がお越しになり大盛況でした。三輪地区の文化芸術の器の大きさをあらためて実感できた演奏会となり、大勢の皆様にお楽しみいただけたのではないのでしょうか。

三輪保育園児の微笑ましい姿と踊り、三輪小吹奏楽団のプラスの響き、城東小合唱団の澄んだ声と、オープニングから児童たちの躍動感にわくわくさせられ、伝統ある柳町中室内楽部の弦楽器の音色が広がり、地元三輪にゆかりあるグループEnsemble di ottoni Tre Anelliもテンポよく、聴衆を魅了。クインテットMIWAは地元で演奏の指導もされている女性たちが華やかな衣装をまとい技量と調和を見せつけました。クライマックスは、何と言っても吹奏楽団“夢”で、力強く時に繊細な演奏力に圧倒されました。

感染症対策でここ何年も会場や聴衆の人数など制約をされた演奏会が、ご出演の7団体はもとより、地元のみならず関係の方々のご理解やお力によって、久しぶりに復活した印象をもらしました。企画、準備から後片付けまでをご支援くださった多くの皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

真夏のはじまりの年中行事として楽しみにされ、長く愛される地元イベントとしてお育てくださったことに深く敬意を表する次第です。誠にありがとうございます。



夏休み真っ盛りの8月2日(水)、小学生の子どもたちを対象に、地域の方や長野県立大・長野女子高の学生の皆さんと一緒に普段の学校生活とは違った「夏休み！三輪こども学校」が開催されました。

これは、当協議会がスローガンの一つに掲げております「文教地区三輪」の取組みの第一弾として、令和元年度に第1回が開催され、それ以降はコロナ禍で開催ができない状況が続き、今年度の開催は4年ぶりの開催となりました。

参加されました23名の子どもたちは、夏休みの宿題を県立大生と一緒にしたり、女子高生が先生となって地域のことを学ぶ「三輪を学ぼう」を真剣に聞いたり、「力を合わせて勝利を目指そう」の運動の時間では、フラフープを使った競技やポッチャ大会

令和5年度『夏休み！三輪こども学校』時間割表		
令和5年8月2日(水)		
	おもしろ組	みずいろ組
8:30~8:50	朝の会	
1限目 9:00~10:00	夏休みの宿題	三輪を学ぼう
2限目 10:10~11:40	力を合わせて勝利を目指そう	
11:50~12:50	昼食	
3限目 13:00~14:00	三輪を学ぼう	夏休みの宿題
4限目 14:10~14:40	おたすけカードゲーム	
5限目 14:50~16:20	工作して遊ぼう	
16:30~16:50	終わりの会	

★学生ボランティア：長野県立大生、長野女子高生等学校生徒★
★昼食は「山崎精肉店」さんと「HOBAN」さんにご協力いただきました。★

2限目

力を合わせて勝利を目指そう



ポッチャ



フラフープ

1限目

三輪を学ぼう



昼食



フランクフルトとカレー



かき氷

健康・福祉部会

子どもと親の育ち合いサロン

代表 岡宮 純子

「育ち合いサロン」は、この3年間はコロナの感染状況により、毎月実施の可・不可を決め進めてまいりました。

今年度より、コロナ5類移行に伴い、予約制で毎月行っております。参加希望が増加傾向にあり、スタッフ一同嬉しくやりがいを実感しております。

月に1度の交流の中で、親御さん同士が笑顔で語り合う姿が見られ、温かい雰囲気にあふれています。6月は着なくなった服を集めて、必要とする人に持ち帰って活用してもらう「キッズリサイクル」も再開し、49名の参加でした。8月はサロンを卒業(?)した兄弟も一緒に参加して59名!

久しぶりに、ホールに大きな輪ができ、皆で♪おもちゃのチャチャチャ♪を歌いながら、手作りマラカスでリズム打ちを楽しみました。

17年目を迎えたサロンですが、今後も親同士・スタッフとの世代間交流の場として、歴史を重ねていきたいと願っております。これからもよろしくお願い致します。



も学校」 4年ぶり笑顔と歓声

を行い、会場内は子どもたちの元気いっぱいの声が響き渡っていました。

昼食の時間では、地域のカレー屋さんとお肉屋さんの絶大なるご協力のもと、少し大人の味のカレーを食べたり、フランクフルトやかき氷をいただき、笑顔あふれる昼食となりました。

また、「おたすけカードゲーム」の時間では、高齢者の困りごとが書かれたカードを各自が選び、グループのみんなの前で「僕・私、できるよ！やっているよ！」と発表して、「これからもお手伝いしようね～」と全員で約束しました。工作の時間では、長野市に登録されていますボランティアの方々のご指導を得て、牛乳パックを使ってランタンを作ったり、バルーンアートにチャレンジしました。

子どもたちにとって、貴重で楽しい経験ができ、いい夏休みの思い出になったのではないのでしょうか。今後も未来を担う子どもたちの夢を育む地域づくりに取り組んでいきます。

3 限目

夏休みの宿題



5 限目

工作して遊ぼう



4 限目

おたすけカードゲーム



終わりの会



公民館部会

親善スマイルボウリング大会

部会長 金井 信幸

6月25日（日）、三輪地区10区が一堂に集まる親善スマイルボウリング大会が開催されました。

1区につき1～3つのチームを結成して参加、また、地域間交流をしている小田切地区の皆さんにも参加していただき、総勢18チームの156名の方がスマイルボウリングの白熱した勝負を楽しみました。

児童の参加も多数あり、子どもからお年寄りまでの方がみんな一緒に一つの事で楽しむ光景はほほえましく、かつ活気があり、素晴らしいものでした。

競技の結果は、優勝が「相ノ木西3」チーム、準優勝は「下宇木2」チーム、3位が「下宇木1」チームでした。それぞれのチームに、自治協金井会長より、賞状と副賞が贈呈され、また参加されたすべての方の健闘を称えて、大会を終えました。



区長部会

地域間交流事業「わらび狩りin小田切」 袋にずっしりと



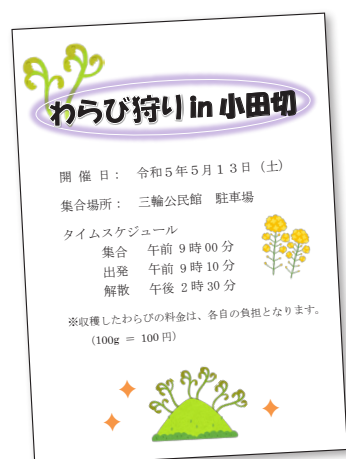
5月13日（土）、小田切地区にある「小野平わらび園」にて、参加者16名でわらび狩りに行ってきました。

平成28年度の新規事業として始まった小田切地区住民自治協議会との交流を目的とした取り組みですが、毎年この時期に当協議会がわらび狩りに訪れ、小田切自治協は当協議会が開催するスマイルボウリングに参加したり、ひまわり広場において新鮮な野菜を提供してくれるなど、相互の交流が深まるとも良い取り組みです。



当日は、三輪公民館を出発後、途中にある

小田切地区の名所旧跡（信濃三十三番札所、第八番札所、西明寺）を巡りながら、標高約1,000mにあるわらび園に到着、注意事項を聞いた後、各々広い園内に散らばり、食べごろのわらびを袋いっぱいになるまで採ってきました。その後、小田切公民館に移動し、昼食を食べながら交流を深めました。



健康・福祉部会

古代へ思い…みわ男塾 「三輪地区史跡探訪」

5月25日（木）、みわ男塾「三輪地区史跡探訪」を20名の参加で開催しました。

当日は、晴天にも恵まれ、新緑のまぶしさも心地良く感じながら、手には自治協で作成した「てくてく三輪まち歩きガイドマップ」を持ち、参加者同士でワイワイガヤガヤ話しながら巡ってきました。

今回は、上宇木地区の史跡を巡る史跡探訪であり、案内人はお馴染みの宇木郷土史会の小林さんをお願いしました。

まず向かったのは、昔はSBC通りにあった秋葉社と道祖社です。以前は木造の社があったとのことでした。続いて、隣接する内堀跡とダシの池と呼ばれました池遺跡を見て、古城跡へと



歩を進め、その後、宮田の諏訪神社・小塚跡、浅川扇状地遺跡群・浅川端遺跡、馬型帯鉤出土跡を巡ってきました。

北部幹線サンロードの工事に伴います発掘調査で、縄文時代から平安時代の大集落跡から青銅の馬型帯鉤が出土したことを聞き、古代に思いを馳せることもできました。

過去から現代、今の私たちに脈々と受け継がれてきているものは大切にしていきたいと思います。ぜひ皆さまも「ガイドマップ」を持って、まち歩きをされてはいかがでしょうか。きっと新しい発見と思いがけない出会いがあるかもしれません。

